

平成28年度の動植物等に係る保全措置、調査等の実施状況について

鳥取県東部広域行政管理組合では、環境影響評価書を受けて保全措置、モニタリング調査等を進めています。

平成28年度に実施した保全措置、モニタリング調査等の概要は表1に示すとおりです。

表1 平成28年度に実施した保全措置、モニタリング調査等の概要

項目		内容・結果
植物	貴重植物の移植	<p>【内容】 ミズマツバの移植及び表土の確保を行った。</p> <p>【結果】 ミズマツバ：過去にミズマツバの生育が確認された旧水田の表土は、溜池上流湿地において土嚢5袋分の撒き出しを行った。また、土嚢20袋分の表土を採取した。</p>
	貴重植物の移植後のモニタリング	<p>【内容】 ナツエビネ、コ克蘭の移植後のモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 ナツエビネ：移植株2株のうち、1株の生育を確認した。 コ克蘭：移植株68株のうち、53株の生育を確認した。</p>
	ホンゴウソウのモニタリング	<p>【内容】 ホンゴウソウのモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 ホンゴウソウ：コドラート内及びその周辺において124株の生育を確認した。総株数に変化はないが、コドラート外の確認株数が増加しており、生育地点は変化していた。</p>
動物・水生生物・生態系	カスミサンショウウオ・イモリの仮移植及び仮移植後のモニタリング	<p>【内容】 カスミサンショウウオ・イモリについて仮移植及び仮移植後のモニタリングを実施した。</p> <p>【結果】 カスミサンショウウオ： 過年度においても産卵が確認された箇所では幼生54個体が採取されたため、新たに溜池上流湿地に仮移植地を整備し、仮移植を実施した。 既存の仮移植地ではカスミサンショウウオの産卵は確認されなかった。</p> <p>イモリ： 過年度においても生息が確認された22個体については、周辺の溜池や水路に仮移植を実施した。 既存の仮移植地ではイモリの生息は確認されなかった。 仮移植地の環境に変化はなかったため、周辺の溜池や水路への移動や泥中深く潜って越冬しており確認しにくい、もしくは越冬に利用していない可能性が考えられた。</p>
	フクロウのモニタリング	<p>【内容】 工事前のモニタリングとしてフクロウの生息状況調査を実施した。</p> <p>【結果】 フクロウ：2月にモニタリングを実施し、鳴き声を1例確認した。平成25～26年度の調査時と比べ確認回数が少なかった。</p>



夏季に確認したミズマツバ
(自生株)。



旧ミズマツバ生育地の表土の撒き出し状況
(自生株)。



保管中の旧ミズマツバ生育地の表土。



移植後のモニタリング調査時のナツエビネ。



移植後のモニタリング調査時のコクラン。



モニタリング調査時のホンゴウソウ。124株
を確認。



既存の生息地で確認されたカスミサンショ
ウオ幼生 (54個体を移植)。



既存の生息地で確認されたイモリ (22個体
を移植)。